

【全校朝礼】

本校では、毎月初めに全校生徒が集う「全校朝礼」を実施しています。これは、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるために極めて効果的な教育活動です。学校生活に折り目を付けることで新しい学校生活の展開への動機付けとなります。

【校長通信】

毎月発行する「校長通信」は全校朝礼で生徒の皆さんに伝えたいことを記しています。その中で毎回24節気を紹介しています。これは、わが国は世界でも稀（まれ）な美しい四季があります。それぞれの季節に則して行われる地域の諸行事はわが国の文化そのものです。季節を感じ文化を理解することで、清新（せいしん：新鮮でいきいきしている）な気分を味わい、心豊かな人生への基礎を育ててほしいとの念いから文化や地域の諸行事も紹介しています。福岡県では「国際的視野に立って地域で活躍する人材の育成」を掲（かかげ）ますが、自国文化への理解なくして異文化を理解することは出来ません。自分を語るためには、自国の歴史や文化への理解が必要です。将来グローバル社会で活躍するための基礎である「自己理解」のきっかけにしてほしいとの願いも込めています。

また「校長通信」では、母校を愛し誇りを持つ気持ちを育むことにも力を入れています。自分が所属している学校やその風土、場所や空間を大切にすることは、友人や周りの人を大事にすることと同じことです。昼休みに校内放送にて流れる「校歌」や「応援歌」も、母校や友人を愛する気持ちを育むことを目指すためのものです。母校を愛する気持ちと誇りを持つこと。そして、強くやさしい心を育むことを願っています。

「校長通信」号外は紙面の都合等により割愛（かつあい）した内容の補足となります。

「校長通信」号外 「校歌」に託す念（おも）い

— 母校を誇る教え —

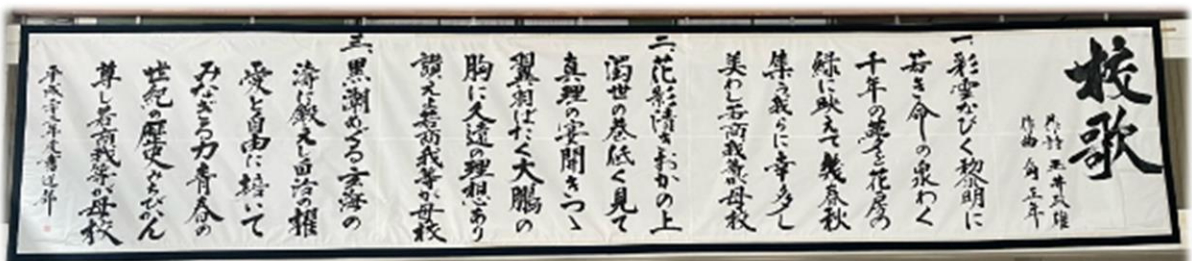
本校の校歌は、昭和36年9月、歌詞を玉井政雄氏（芥川賞作家・火野葦平実弟：数多くの民話や郷土資料を掘り起こし多数の著書を残す）作曲を角正年氏（北九州市内中高の校歌を多数作曲）に依頼し昭和37年11月21日の第三回「若商祭」において発表されました。同時に作詞者である玉井正雄氏から校歌について講演会も開催されました。

当時の学校新聞は「念願の校歌が完成した！本当に嬉しい！」と記されています。

「美し若商、讃えよ若商、尊し若商」耳を澄ませば、当時の生徒や先生方の学校を大切にすることの喜びの声が聞こえてきます。それから60年、校歌は若商の伝統を支える精神的な柱となっています。



当時の学校新聞「若商新聞」





本校の応援歌について、創立10年史(昭和44年)によると、昭和39年11月に応援歌の「詞」の部分の記録が残っていました。曲は付いておらず、そのため半世紀以上生徒たちに歌い継がれることはありませんでした。

昨年、創立60周年を記念し当時の歌詞を参考として、現代風に作詞しました。作曲は福岡県立行橋高等学校の校歌を手掛けられた、岡田一吉先生(元県立高校教諭)に依頼しました。

実に55年の時空を超えて、応援歌が蘇りました。この応援歌は令和2年10月31日、創立60周年記念式典・生徒発表会にて吹奏楽部の演奏、生徒会の合唱により発表されました。

在校生の皆さん、そして卒業生の皆さんの高い理想と「志」それを実現させるためのたゆまぬ努力。母校若商は久遠(くおん)に温かく見守り応援を続けています。

濤(なみ) 音高き 玄海の 潮に育ちし 精鋭よ  
 鍛えた技は 潔し  
 練られた技は 潔し  
 標(しるべ) を築け 若商健児



応援歌「揮毫」発表式 令和3年2月

北九州市では太平洋戦争末期（昭和20年（1945年）8月終戦）、アメリカ軍が投下した原子爆弾にまつわる「桜」の植樹を進めています。令和3年2月12日（金）北九州市主催（市長参加）により、本校生徒会が植樹する記念式が行われました。

昭和20年8月9日、長崎市に原子爆弾が投下され、罪のない多くの方が犠牲となりました。林嘉代子（はやしかよこ）さん（当時15歳：長崎県立高等女学校4年）は、爆心地から500メートルほど離れた長崎市立城山小学校で学徒報国（がくとほうこく）隊員として勤めており、午前11時2分に投下された原子爆弾にて、多くの友人とともに亡くなりました。

戦後、母親の津恵さんは、娘と一緒に亡くなった女学生の慰霊（いれい）と平和への願いを込めて、同小学校の校庭に桜の苗木を植えました。その桜は「嘉代子桜」と名付けられ、春には見事な桜花を咲かせています。

長崎市に投下された原子爆弾は、当初旧小倉市にあった小倉陸軍造兵廠（こくらりくぐんぞうへいしょう：小倉北区にあった兵器工場）を目標としていました。アメリカ軍は爆弾投下の当日、当時の小倉北区が視界不良であったため爆撃地を変更し、第2目標である長崎市に投下して、多くの市民の尊い命が奪われたのです。

このことを顧（かえり）み、北九州市では平和への願いが込められた苗木を「嘉代子桜・親子桜」と名付け、広く北九州市内の公園や学校等に植樹を行い原爆や戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝える取組を行っています。本校においても美しい桜の花を咲かせ、戦争のない平和な社会を築くことを願っています。



「嘉代子桜・親子桜」の植樹式 令和3年2月

生徒の皆さんが学ぶ校舎は、昭和35年の本校の開校時に竣工されました。その後、昭和60年から平成29年にかけての大規模改築により、現在の校舎に建て替えられました。このとき、同窓会の皆さんを中心に各施設の名称を定め、表札を設置する動きがありました。卒業生のみなさんは、母校を愛し、母校の発展を心から応援しています。なぜなら自らの人生で最も輝く瞬間である高校時代に過ごした場所である母校、学習に励み、友と未来を語った教室、学校行事や心と体を鍛えた体育館や武道場、これらの思い出は卒業後も永遠に輝く宝物なのです。その母校を大切にしてほしいと願う気持ちは当然であります。このことを踏まえ、創立60周年記念事業の一環として各施設の入り口 四か所に表札を設置する運びとなりました。

・正面玄関口…福岡県立若松商業高等学校

・教室棟入口…彩雲立志館（あやぐもりっしかん）

志を立て、目標達成に向けて自分を磨いてほしいとの念いを込めました。

・体育館入口…彩雲潔技館（あやぐもけつぎかん）

潔い技を磨き、生徒の皆さんの健やかな成長を願う念いを込めました。

・武道場入口…彩雲鍛錬館（あやぐもたんれんかん）

厳しい修養を積んで、強い心身を鍛えてほしいとの念いを込めました。

表札の揮毫は「書道」担当の宮本 大輔 先生にお願いしました。隷書(れいしょ)による書体で高校の施設らしく、若々しく躍動感ある素晴らしい揮毫です。

各施設名の最初にある彩雲とは、古来から吉兆といわれる気象現象です。本校を見守る花房山に現れるとされています。校歌や応援歌にも「彩雲なびく…」と謳(うた)われており本校のスクール・イメージでもあります。また、本校の同窓会『彩雲会』の名称としても使われています。

自分が所属している場所や空間を大切にすることは、友人や周りの人を大事にすることと同じことです。母校を愛する気持ちと誇りを持つこと。そして、強くやさしいところを育むことを願っています。



【正面玄関の木材】「欅（ケヤキ）」

・木目が美しく堅くて耐久性に優れます。神社・仏閣の建築材にも用いられ仏像も作られます。

【教室棟、体育館、武道場の木材】「檜（ヒノキ）」

・白く輝く光沢があり、強い芳香を長期に渡って発します。材は年々強度を増していきます。

【表札裏面】「壬寅（みずのえとら）：春日」…干支と雅号（ペンネーム）

・令和四年の干支（えと）は壬寅です。干支（えと）とは、十干（じっかん）と十二支（じゅうにし）による組み合わせです。令和四年は壬寅、春分（2月上旬）に設置したため「壬寅春日」と記（しる）しています。宮本先生の雅号「宮本大島」も記しています。

－ 自分を磨く場所に身を置くことで目標が定まる －

本校の教育目標に「志を立ててをもって万事の源となす」と掲げています。それぞれの「志」の実現を目指し、学校として組織的に支援するため「こころざし実現講座2・3・4」を実施しています。志に近づくためにコツコツと努力した経験は皆さんの人生の中でいつか永遠の宝ものとなります。

【こころざし実現講座1：土曜セミナー】 - アドバンテージを更に強化 -

商業高校である本校は、他校より圧倒的なアドバンテージ（優位性）があります。それは言うまでもなく検定試験の取得です。受験は団体戦と言われます。「みんなで同じ目標に向かって頑張ろう」という雰囲気と環境の中に身を置くことで、より目的意識が高まり、相乗効果（そうじょうこうか：互いに影響し合って効果があがる）があるためです。同じ「商業に関する学科」がある学校でも併置校（へいちこう：他の学科がある）であるため、団体戦の雰囲気や一体感づくりがとても難しいのです。

そして、検定直前に過去問を徹底して解くことにより、その効果は最高になります。これらをめざして「こころざし実現講座1：土曜セミナー」を実施しています。

回	日程	曜日	時間	講座内容
1	6月12日	(土)	9:00~11:00	日商簿記検定対策
2	6月19日	(土)	9:00~11:00	全商珠算・電卓実務検定対策
3	6月26日	(土)	9:00~11:00	全商簿記実務検定対策
4	9月4日	(土)	9:00~11:00	全商英語検定対策
5	9月25日	(土)	9:00~11:00	全商情報処理実務検定対策
6	11月13日	(土)	9:00~11:00	全商珠算・電卓実務検定対策
7	11月20日	(土)	9:00~11:00	日商簿記検定対策
8	12月18日	(土)	9:00~11:00	全商英語検定対策
9	1月22日	(土)	9:00~11:00	全商情報処理実務検定
10	1月29日	(土)	9:00~11:00	全商簿記実務検定対策
11	2月5日	(土)	9:00~11:00	全商商業経済検定
12	2月26日	(土)	9:00~11:00	日商簿記検定対策

【こころざし実現講座2・3・4】 - 努力と汗はいつか永遠の宝ものとなる -

なりたい自分に近づくためには、短期的な結果を求めてはいけません。「学問の大禁忌は作輟（さくてつ：やったりやらなかったり）なり」と幕末の教育家である吉田松陰先生の教えがあります。継続することで学力を高めることはもとより、心が鍛えられ最も大切な志が固まります。

講座名/曜日	月	火	水	木	金
四年制大学受験対策	小論文	数学	小論文	英語	国語
看護学校試験対策	作文		国語	数学	
公務員試験対策	社会	理科	国語	数学	英語

なにより、志を実現させた人は「最後まで、あきらめなかった人」・・・ただそれだけなのです。